

# 銭形通信

Vol.11

秋号



## News

### アビリンピック全国大会2010 当社職員の高田暁仁が見事銀賞を受賞!

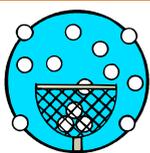
10月15日（金）から17日（日）にかけて、神奈川県で開催された第32回全国障害者技能競技大会（アビリンピック.2010）のワード・プロセッサ部門で、当社の職員 高田暁仁（20）が出場者44人中2位に入り、見事銀賞に輝きました。

彼は、これまで京都府代表として全国大会に2度出場し、今回3度目の挑戦で初の入賞。昨年、銭形企画入社1年目で挑んだ茨城大会では惜しくも入賞を逃し涙を吞みましたが、入社2年目の今年は日々の事務で培ってきたビジネス・スキルを武器に強豪を押しのけ悲願のリベンジを達成しました。

今回の銀賞受賞の感想はという問いに対して彼は、「昨年より問題量が増え、難易度も上がっていたので、とにかく疲れしました。高校時代から入賞を目指してきたので、すごく嬉しくほっとしています。」と。勝因については、「高校時代に担任の先生から勧められて何となく出場したこの競技ですが、銭形企画に就職して1年半が経ち、自分の持っている知識や技術が実際に仕事に役に立っているという自信が、今回の受賞につながったのだと思います。」と堂々のコメント。

介護報酬請求、会計資料作成、給与計算など事務を一手にこなす忙しい職場生活の中で、着実に事務職としての腕を磨いてきた彼の快挙に、銭形企画はお祝いムード一色。「今回の受賞は皆さんのおかげです。これからも皆さんの現場業務をサポートする事務方として、更なるスキルアップを目指したいです。」という彼。現場の職員が花形といわれる私たちの仕事ですが、銭形企画では、入社2年目の若い“縁の下の力持ち”が介護・福祉という分野で、自分の夢に向かって日々挑戦しています。





## 秋の和(なごみ)イベント!



### 亀岡コスモス園

A『今年の秋はどこに行こうか?』 B『夏が暑くて出かけられなかったから・・・、秋が感じられるところがいいね。』 C『秋の花って何があった?』 A『ヒツジグサ、ホトトギス、ハマオモト、イボグサ、イヌホタルイ・・・。』 C『聞いたこと無いよ、そんな花・・・。』 B『コスモスは?』 C『それ、分かりやすい!!それにしよ!!』 A『僕も最初からコスモスがいいと思ってたんだよ。』 B、C『じゃあ最初から言ってよ!!!』という会話から、



亀岡のコスモス園に行くことになりました。今年のコスモスは、気候のおかげ?か、例年になく見事ということ。広い敷地にいっぱい広がるコスモスは秋の到来を存分に感じさせてくれました。

← 亀岡のコスモス園。広さ1万5千坪(49500㎡)に20種類、800万本のコスモスが咲いています。しかし、うちの男前は、絵になってますねえ。

## 大運動会

今年の異常なまでの暑さが終わりを告げ、いよいよ食欲、読書、そしてスポーツの秋!!ということで、和(なごみ)では、ご利用者対抗(職員も?)秋の大運動会を開催しました。



← 運動会と言えば玉入れ!! →  
どっちも頑張れ!!!



← こちらも運動会定番のパン食い競争。最近あまり見かけませんか? やっぱり食べ物がかかると目の色が変わります??



この他、応援合戦、ボール運びリレーなど、日ごろの練習の成果をみんなが発揮し、大いに盛り上がりました。でも、盛り上がり過ぎてケンカ?にないそうになるのが玉に傷ですが(泣)…。また来年も皆さま宜しくお願いいたします。

# Let'sゼニガタは「特定事業所加算Ⅰ型」を取得しました

Let'sゼニガタでは、障害分野における居宅介護事業（身体介護・家事援助・通院介護）において、「特定事業所加算Ⅰ型」を取得し、8月以降より当該加算（所定単位数の20%）を加えた介護サービス費の請求を行わせていただいております。

「特定事業所加算Ⅰ型」の加算要件は次のとおりです。

- ① 全ヘルパーに対し個別研修計画を作成し、これに基づく研修を行っていること。
- ② 利用者に関する情報やサービス提供に当たっての留意事項を担当ヘルパーに周知するとともに、技術指導を目的とする会議を定期的で開催していること。
- ③ 全ヘルパーに対し、定期的に健康診断を実施していること。
- ④ 緊急時等の対応方法が利用者に明示されていること。
- ⑤ 新任のヘルパーに対し、熟練ヘルパーによる同行研修を実施していること。
- ⑥ サービス提供責任者が担当ヘルパーに対し、利用者の情報やサービス提供に当たっての留意事項を明示した上でサービスを開始し、適宜報告を受けていること。
- ⑦ ヘルパーの総数のうち介護福祉士の数が30%以上であること。
- ⑧ サービス提供責任者が実務3年以上の介護福祉士、又は5年以上の1級ヘルパーもしくは介護職員基礎研修修了者であること。
- ⑨ 常勤のサービス提供責任者が2名以上配置されていること。
- ⑩ 全利用者に占める重度障害者（障害区分5以上）の人数が30%以上であること。

今後とも、ご利用者の皆さまに喜んでいただける事業所として歩むべく、より一層のサービスの質の向上と厳正な事業所運営に取り組んで参りますので何とぞ宜しくお願い申し上げます。

## 新しいスタッフのご紹介



**大森 充（おおもり みつる）**

**8月入社**  
**ホームヘルパー**  
**（ヘルパー2級）**



初心を大切に、利用者さんに喜んで頂けるヘルパーを目指します。

**高屋 紀子（たかや のりこ）**

**9月入社**  
**ホームヘルパー**  
**（介護福祉士）**



頑張ります。  
よろしく申し上げます。

## ヘルパーつれづれ日記

街を送迎車で走っていると、よく観光バスとすれ違います。「さすがに観光都市京都だな。」と思う光景です。（本音は「でかくて遅いから邪魔だな。」ですが・・・。）旅行はいくつになってもいいものですね。いろいろな風景、その土地の人や食べ物、さまざまな出会い・・・、日々の疲れや悩みを吹き飛ばし安らぎや楽しさを与えて生きる気力をくれる、そんなものの一つと言えるでしょう。

銭形企画でも毎年、ご利用者を対象に（半分は職員の慰安旅行を兼ねて？）一泊旅行に出かけます。今年は北陸の“小京都”金沢。以前、僕も住んでいましたが、風情があってなかなかいい街ですね。今から僕を含め、ご利用者様も楽しみにしています。

銭形旅行が始まったのは、今から10年程前。きっかけは、当時のご利用者様の「一泊で温泉に行きたい。」という言葉だったそうです。（僕がここ銭形企画にお世話になる前のことですから、詳しくは知りませんが(笑)）。そこは我々が銭形企画のイケイケ社長、ご利用様が望んでいるなら実行しよう！！ということで、初めて行った旅行先は兵庫県但馬のシルク温泉だったそうです。参加されたご利用者の生き生きとした顔に心打たれ、それから毎年のように西へ東へ南へ北へ。いつの間にか恒例行事となり、今ではご利用者の生きがいの一つになっています。

介護に携わり10年。様々な職員やご利用者様と出会い、様々な事を学び、生について考えるようになりました。無論、旅行や外出だけがご利用者の生きがいのすべてではありません。その人がその人らしく生きるために・・・。銭形企画は、今もこれからも、ご利用者様と共に歩いていく、そんな事業所でありたいと思います。（執筆：白杉優一）



日時：11月17日（水）1：45～3：00  
 ところ：デイサービス和（なごみ）  
 メニュー：パウンドケーキ（キャラメルバナナ味）  
 コーヒーや紅茶などとセットで¥100です。  
 皆さんお誘い合わせのうえ是非お立ち寄り下さい。

『銭形通信 Vol.11 秋号』

発行元：（有）銭形企画 〒600-8365 京都市下京区丹波口通大宮西入丹波街道町 298 番地  
 TEL075-353-4880（代） FAX075-353-4891 E-mail：mail@zenigata-kikaku.jp  
 編集：高田 暁仁（たかだ あきひと） 上原 啓輔（うえはら けいすけ）

「銭形通信」は（有）銭形企画の情報の公表の一環としてご利用者様ならびに関係機関の皆さまにお渡ししております。